



2006.4

No. 147

MONTHLY

# れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 佐藤 富夫  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 「格差是正と賃金改善」めざし闘うぞ！

2,200人が結集し、全道総決起集会を開催

連合北海道2006春季生活闘争本部は3月10日、札幌市で「2006春季生活闘争勝利 全道総決起集会」をひらき、格差是正と賃金改善を求めて大手も中小も、公務も民間も一致団結して闘っていくことを確認した。

渡部本部長

### 「負けることのできない闘い、 がっちりとスクラム組もう」

2,200人の参加者を前に、主催者を代表して挨拶に立った渡部本部長(連合北海道会長)はこの春闘は公正な分配の実現を通じて二極化と格



差拡大阻止が大きな柱になる」とし、「積極的な賃金改善、格差是正と均等待遇実現、ワークルール、ワークライフバランスの確立が重要だ」と訴え、「連合北海道の春季闘争は厳しい情勢下で闘うことになるが負けることのできない闘いだ。がっちりとスクラムを組んで一体となって闘っていく」と呼びかけた。

佐藤事務局長

### 「春闘勝利、社会と政治を変えてこそ 労働運動の金メダル」

続いて佐藤事務局長が、「北海道では13年目を迎える地場集中決戦方式は全国に拡大して取り組まれているが、今日段階で約400組合がエントリーしている。4月内決着をめざしていきたい。闘争本部は3月16日に北海道経営者協会など経済6団体、北海道労働局に対し賃金改善の獲得、非正規労働者の平等待遇、不払い残業の撲滅、政策制度要求など22項目の要請を行う」と闘いを提起。また季節労働者問題にふれ、「冬期の生活を支えている援護制度が来年3月に打ち切られようとしている。北海道知事を先頭にオール北海道で制度の存続・改善を求める取り組みを行っている。仲間の皆様のご支援をお願いしたい」と呼びかけた。

さらに「2006春季生活闘争を勝利し、社会と政治を変えてこそ労働運動の金メダルだ。先行組合が勝ち取った成果は、後に続く地場中小組合に勇気と力を与える。勝ち抜こう」と訴えた。

### 各部門から決意表明

各部門からの決意表明では、まず民間産別を代表して電力総連の武田事務局長が「規制緩和により電力の自由化がはじまり、生き残るために効率化、コスト削減、人員削減がすすめられている。組合員のがんばりに応えるために雇用の維持・安定、賃金カーブの確保をはじめとして、3月内決着をめざし一致団結してがんばりたい」、公務部門を代表して自治労恵庭市役所職員組合の横道委員長は「地方自治体の財政状況は、国の押しつけ政策、地方交付税の削減により厳しい状況だ。道内では6割以上の自治体で基本給・手当削減、人件費水が準引き下げられようとしている。昨年の総選挙以降、小泉内閣は公務員つぶしの側面を強めている。国民のセーフティネットを充実させる勢力の結集と民主党の再生が必要。労働を中心とする福祉型の社会を築くためにも来年の統一地方選、参議院選にむけがんばろう」、非正規労働者を代表してサービス・流通連合コープさっぽろの田賀副委員長は「非正規労働者は低賃金の中でも責任ある仕事をこなし頑張っている。賃金の底上げは必要だ。



非正規労働者の目線にあわせ、北海道全体の賃金底上げをなんとしても勝ち取ってほしい。要求を一つでも確実に前進させる春闘にしていきたい」、季節労働者を代表して道季労の笠原副会長は「働きたい、仕事があつても冬期に失業を余儀なくされる。年間収入は道民平均の半分以下だ。雇用援護制度は大きな役割を果たしている。冬期失業を解消するための通年施工の促進、工事の平準化が解決するまでの間は、制度は絶対に必要だ。8月までが正念場となる。現在取り組んで頂いている署名や闘争カンパに協力願いたい。季節労働者の切り捨てを許さず、断固組織の総力をあげて闘う。」と、それぞれ力強く決意を表明した。

集会はアピールと「高齢者等の負担増に反対し、信頼と安心の医療制度改革を求める決議」を採択。最後に格差是正と賃金改善、勝利に向け団結がんばろーを三唱し、それぞれの職場、地域で頑張ることを誓い合った。

要求・回答・妥結情報を集約しますので、2006春季生活闘争本部・情報センターまでお知らせ下さい。

TEL 011-210-0050 FAX 011-272-2255

この記事のアドレス

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03010\\_syuntousouketuki.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03010_syuntousouketuki.html)

## 信頼と安心の医療制度改革を！

「3.26医療制度を考える道南地域学習討論集会」を開催

3月26日、今通常国会に提出された医療制度改革法案の課題に対する学習討論集会を道南ブロック(函館)で開催した。集会には約200名が参加した。

最初に、連合北海道渡島地域協議会渡部会長が開催ブロックを代表して挨拶。「制度改革の内容は分かりづらい。誰もが分かりやすいものとし運動として取り組むためには、連合がコアとなって取り組む必要がある」と述べた。

続いて連合本部飯倉生活福祉局部長が医療制度改革案の問題点と課題について講演。連合として安心と信頼の医療制度確立に向け取り組み、法案については「確実な実行を求める」「修正・撤回を求める」「改善を求める」事項に分けて対応するとの提案をした。引き続き、医療現場の現状として道南医療連絡会議村中事務局長が提起。誰もがより良い医療と看護と介護が受けれるような医療制度をと訴えた。

最後にアピールを採択、「信頼と安心の医療制度」改革を進めるよう、全国の多くの仲間や国民とともに、強く政府

に求めることを確認し、集会を終了した。

(函館の他、釧路(4/1)、旭川(4/7)、札幌(4/8)でも開催)

この記事のアドレス

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03026\\_iryoudounan.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03026_iryoudounan.html)



れんごう  
トピックス



### 全道メーデー手ぬぐいデザイン決まる

最優秀賞は遠軽町の長原さんの作品

#### 最優秀賞は遠軽町の長原さんの作品

連合北海道は、全道メーデーに使用する手ぬぐい・看板のデザインを募集していましたが、全道各地の組合員の皆さんから20点の応募がありました。第1回実行委員会(3月22日)を開催し、出席した実行委員21名の投票により、この中から、最優秀賞1点、優秀賞3点を選出しました。

なお、最優秀賞はメーデー手ぬぐいとしおり、舞台看板に採用され、優秀賞はしおりに掲載されます。多数の応募ありがとうございました。

当選者の方々は次の通りです。

##### <最優秀賞>

長原裕一さん(自治労・遠軽町労連白滝支部)

##### <優秀賞>

斉藤久四郎さん(自治労全道庁網走総支部北見保健所支部)

笹岡 英二さん(自治労全道庁水産林務部支部)

石橋真理子さん(道学組事務長組合・天塩高校)



この記事のアドレス

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03022\\_maydaydezaainc.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03022_maydaydezaainc.html)

## 道内経済6団体、道労働局に対し要請行動 賃金改善、パート労働者の均等待遇など格差是正を

連合北海道は16日、北海道労働局と道内経済6団体(北海道経済連合会、北海道経営者協会、北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道経済同友会、北海道中小企業団体中央会)に対し、勤労者の労働条件改善に関する要請を行った。

経済6団体へは賃金改善、パート労働者の均等待遇をはじめとして8項目21点にわたって要請した。冒頭、佐藤事務局長は「今後道内の交渉が本格化する。格差是正にむけて労使の話し合いによって改善されるように」と申し入れるとともに、季節労働者対策への協力を求めた。要請に対し経済団体側は大筋で連合北海道の要請について共通の認識にたてるとしたものの、賃金改善については、連合北海道の「厳しいながらも回復傾向にあるのであれば、積極的な賃金改善をすべきだ」との要請に、経済団体側は回復傾向にあることは認識しつつも「先行きの不透明感を考えれば賃金改善は厳しい」との見通しを示した。村田副事務局長が「ゆるやかに改善に向かっているのであれば悲観的になるのではなく、脱出できるようお互い知恵を出し合っていかなければならない」と強く主張した。

一方、北海道労働局へは正規雇用の安定・確保、法定最低賃金の引き上げをはじめとして5項目12点にわたって要請



した。労働局側は雇用の安定、不払い残業の撲滅など全般にわたって、引き続き厳しい対応を行っていくことを明らかにした。

経済団体とは今後も話し合いを続け、合意できるものがあれば、表明する予定。

<この記事のアドレス>

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03015\\_syun06.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03015_syun06.html)

## 二極化と格差是正に真正面から取り組もう

### 3・8男女雇用機会均等法改正全国統一行動北海道集会

男女雇用機会均等法改正全国統一行動北海道集会が3月8日、自治労会館において186名の参加で行われた。

最初に連合北海道佐藤富夫事務局長より、「10年ぶりの均等法改正とそれと連動する全国統一の国際女性デーの行動」という本集会主旨が説明され、この間の均等法改正に対する連合のとりのくみや国会に上程された同法案の私たちの主張を盛り込ませるための運動が重要であるとの提起があった。また、春期生活闘争については「二極化と格差是正に真正面からとりくむ闘いを構築していくことが最大課題」と述べ、ともに連帯してたたかう意思統一が行われた。

講演は、民主党の中で中心となって男女雇用機会均等法についてとりくみを進めてきた前衆議院議員藤田一枝さんより「男女雇用平等法の実現にむけて」と題して行われた。

まず、3月7日に政府案が国会に上程され、参議院先議でおこなわれること、参議院は与野党の勢力が近いこと・女性議員の数が多きことなどから私たちのたたかいをつくる可能性があることなどの均等法をめぐる情勢について話があった。

次に、1985年均等法がはじめて成立してからの日本国内の経過について、問題点や女性の働き方などの観点から話された。「男稼ぎ方の社会」「過労死、過労自殺」「コース別採用」「パートタイム労働、有期雇用」などの実態がまだまだ残されており、「ひとりの人間として自立した働き方がで



きる」「間接差別の撤廃」「ライフワークバランス」「女性の意思決定の機会をふやす」「性別役割分業意識の撤廃」などの課題の解消が重要であることなどをわかりやすく説明した。

今回、国会に上程された「男女雇用機会均等法」の大きな問題点である「間接差別の限定列举」の解消等にむけて、これからも全国的な運動を展開していくことを確認し合い、最後に「集会アピール」を採択し集会を終えた。

<この記事のアドレス>

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03014\\_kokusaijoseiday.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03014_kokusaijoseiday.html)

# マンションの耐震偽装問題で道に申し入れ 建築確認制度の審査体制強化等を求める

連合北海道は3月17日、道に対して「耐震偽装マンション等の徹底調査と再発防止策の抜本的確立を求める要請」を行い、建築確認制度の抜本的改革を求めることなど、5項目の事項について道の姿勢や今後の取り組み方針を質した。

佐藤事務局長を筆頭とする5名の要請団は、野村建設部長室を訪れ要請書を提出。冒頭、佐藤事務局長から要請の趣旨を説明し、人生最大の買い物である住宅の安全性は最も重要な問題であり、今回の偽装事件を契機とした消費者の不安を払拭するために、行政の果たすべき責務は

重いと指摘。

それに対して野村建設部長は、新年度から建築確認申請に用いる書式を改めるなど、チェック体制が有効に機能するよう努めたいと回答した。

最後に、佐藤事務局長から今後の再発防止策の柱として、マンションの建築に誰がどの時点でどう関与したか明らかにすることが欠かせないと強調し、要請を終えた。

この記事のアドレス

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_03017\\_manshongizou.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_03017_manshongizou.html)

# 医療制度改革悪に反対！

## 医療保険制度の充実を求める全道総決起集会

北海道高齢・退職者団体連合は、3月2日にポールスター札幌に600名を結集して、医療保険制度の充実を求める全道総決起集会を開催した。連合北海道は後援。

集会は、北海道高齢・退職者団体連合 関川勝子幹事の司会で開始され、主催者を代表し、大西彰会長が「小泉政権が今国会に提案している医療制度改革案は高齢者に負担増を求めるもので反対である。これまでの税制・年金・介護の改悪で高齢者は厳しい生活実態にある。それに追い打ちをかける医療制度改革であり絶対に容認することは出来ない。小泉政権になってから、すべての面で高齢者・国民に犠牲のみを押しつけ、何も前進面はない。いまこそ高齢者・国民が大きな声を上げ反対に立ち上がる時である」と挨拶した。

参加者を代表し、北退教・札幌豊平区常任委員の浜出かおるさん、十勝地区退職者連合事務局長の水口隆弘さんが「高齢者の生活実態から政府の医療制度改革は認められない。みんなの力を結集して、がんばろう」と決意表明

した。

集会決議の提案は、道高齢・退職者団体連合事務局長の上松俊彦さんが行い、満場の賛同で採択された。その後、道高齢・退職者団体連合事務局次長坂口敏春さんからデモ行進の指示があり、最後に道高齢・退職者団体連合副会長の奥清治さんの団結ガンパローで集会を閉会し、市内中心街のデモ行進を行った。



この記事のアドレス

[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_0307\\_iryoushuukai.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_0307_iryoushuukai.html)



### 4月・5月の主な動き

医療制度改革を考える学習討論集会

7日(金) 18:00 / 旭川市

医療制度改革を考える学習討論集会

8日(土) 10:00 / 自治労会館

ボランティアサポートセンター第3回事務局会議

10日(月) 16:00 / 連合北海道会議室

第77回全道メーデー第2回実行委員会

11日(火) 13:30 / 教育会館

国民保護法制連絡協議会

14日(金) 13:30 / 自治労会館

第6回執行委員会

19日(水) 10:30 / 連合北海道会議室

地協事務局長会議

19日(水) 13:30 / ガーデンパレス

労働福祉対策委員会

19日(水) 15:00 / ガーデンパレス

ボランティアサポートセンター結成総会

22日(土) 16:00 / 北海道教育会館

教育基本法シンポジウム

25日(火) 18:30 / 厚生年金

安全センター第5回理事会

27日(木) 15:00 / 連合北海道会議室

### 5月

第77回全道メーデー大会

1日(月) 10:00 / 大通公園8丁目広場

### 組合員特別優待クーポン誌

2006年 ゴルフ場特別企画

# ゆに・ぽん

ただいま配布中です。  
ゴルフのおともに  
ぜひご利用ください。

# おまたせしました!



### イベントカレンダー